

平成15年三重県消費者物価指数の動向

1 概 要

三重県…平成15年平均の三重県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で98.6となり、前年と同水準でした。

持家の帰属家賃を除く総合指数は98.1で、前年に比べ0.2%の下落でした。

全 国…平成15年平均の全国消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で98.1となり、前年に比べ0.3%の下落で平成11年以降5年連続の下落となりました。

持家の帰属家賃を除く総合指数は97.7で、前年に比べ0.3%の下落でした。

近年の総合指数の動きを対前年上昇率でみると、県も国も平成10年まで上昇傾向が続き、平成11年以降は下落傾向に転じています。総合指数の値を県と全国で比べると、指数が上昇傾向であった平成10年までは三重県のほうが低く、下落に転じた平成11年以降は三重県のほうが高い傾向にあります。

平成15年について、三重県は前年と同水準、全国は引き続き下落していますが下落幅は例年より縮小しています。(図1、表1、統計表第1表)

図1 消費者物価指数及び対前年上昇率

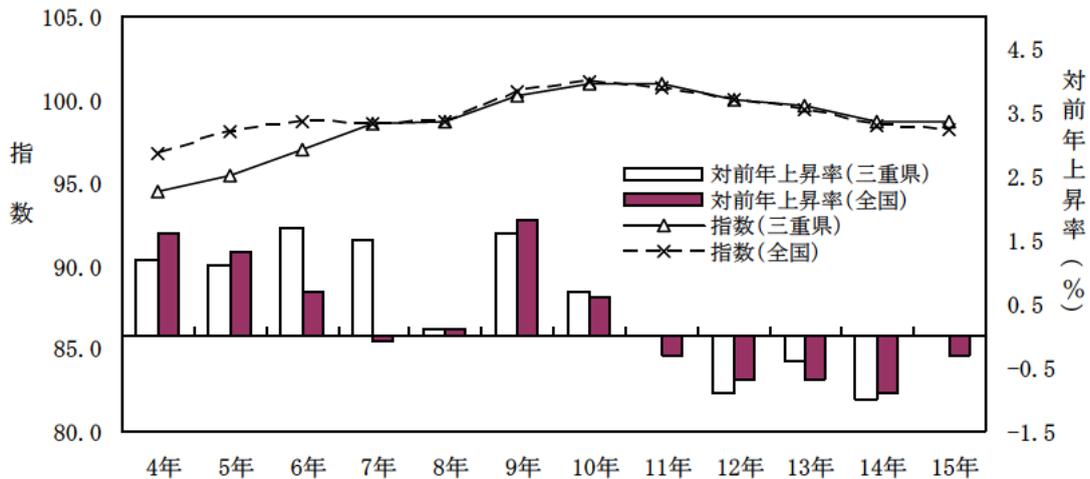


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成12年 = 100

	三重県				全国					三重県				全国			
	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)		総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)
平成2年	90.6	2.8	92.9	3.0	92.1	3.1	93.1	3.1	平成9年	100.2	1.6	100.3	1.4	100.4	1.8	100.6	1.6
平成3年	93.3	3.0	95.7	3.0	95.1	3.3	96.1	3.3	平成10年	100.9	0.7	101.2	0.9	101.0	0.6	101.3	0.7
平成4年	94.4	1.3	96.8	1.2	96.7	1.6	97.7	1.6	平成11年	100.9	0.0	100.9	-0.3	100.7	-0.3	100.9	-0.4
平成5年	95.4	1.0	97.7	1.0	98.0	1.3	98.8	1.1	平成12年	100.0	-0.9	100.0	-0.9	100.0	-0.7	100.0	-0.9
平成6年	97.0	1.7	98.6	1.0	98.6	0.7	99.3	0.5	平成13年	99.6	-0.4	99.3	-0.7	99.3	-0.7	99.1	-0.9
平成7年	98.5	1.6	99.0	0.4	98.5	-0.1	99.0	-0.3	平成14年	98.6	-1.0	98.3	-1.0	98.4	-0.9	98.0	-1.1
平成8年	98.6	0.1	98.9	-0.1	98.6	0.1	99.0	0.0	平成15年	98.6	0.0	98.1	-0.2	98.1	-0.3	97.7	-0.3

※ 持家の帰属家賃を除く総合

2 年間の動き

平成15年における月々の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について、各月の対前年同月上昇率でみました。

1月は食料が上昇しましたが、住居、光熱・水道や教養娯楽などが下落し、0.4%の下落、2月も同じ傾向で、0.1%の下落となりました。

3月は食料、交通・通信の上昇により、0.1%の上昇、4月は食料、保健医療などの上昇により、0.2%の上昇、5月は食料、交通・通信の上昇幅は小さくなりましたが、住居が上昇に転じ、0.2%の上昇、6月は交通・通信は下落しましたが、他は5月と同じ傾向で、0.2%の上昇でした。

7月は食料が下落に転じ、また、引き続き光熱・水道、家具家事用品、教養娯楽が下落していますが、住居、保健医療、諸雑費の上昇により0.1%の上昇、8月も同様の傾向で、0.1%の上昇、9月は光熱・水道が上昇に転じ、0.3%の上昇、10月も同じ傾向で、0.3%の上昇でした。

11月は食料、家具・家事用品、教養娯楽の下落により、0.1%の下落、12月も同じ傾向で、0.1%の下落でした。

(図2、表2、統計表第1表)

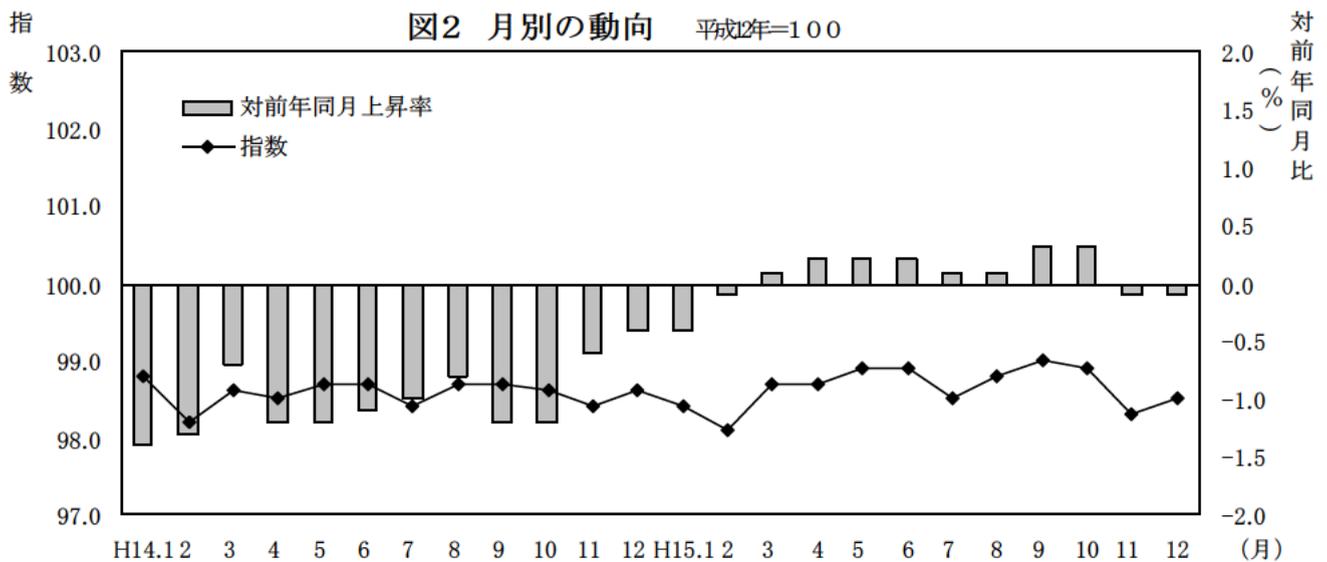


表2 対前年同月上昇率及び
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度

対前年同月上昇率…単位: %

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
対前年同月上昇率	総合	三重県	-0.4	-0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	-0.1	-0.1
		全国	-0.4	-0.2	-0.1	-0.1	-0.2	-0.4	-0.2	-0.3	-0.2	0.0	-0.5	-0.4
	持家の帰属家賃を除く総合	三重県	-0.5	0.0	0.2	0.2	0.1	-0.2	-0.3	-0.3	-0.1	0.0	-0.6	-0.6
		全国	-0.5	-0.3	-0.2	0.0	-0.3	-0.5	-0.3	-0.4	-0.2	-0.1	-0.6	-0.4
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度(小・中分類で寄与度の大きいもの)	家賃	-0.07	-0.10	-0.10	-0.11	0.08	0.41	0.36	0.38	0.38	0.34	0.31	0.38	
	保健医療サービス	0.02	0.02	0.02	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21	0.21	0.15	0.15	0.15	
	野菜・海産物	0.18	0.26	0.38	0.40	0.20	0.15	0.08	0.12	0.08	0.03	-0.29	-0.11	
	教養娯楽・耐用財	-0.10	-0.09	-0.09	-0.09	-0.11	-0.11	-0.11	-0.11	-0.11	-0.11	-0.09	-0.09	

3 費目別指数の動き

平成15年平均の三重県消費者物価指数を10大費目別に前年と比較すると、食料、住居、保健医療、交通・通信、教育、諸雑費が上昇し、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、教養娯楽が下落しました。(図3、表3)

(1) 食料

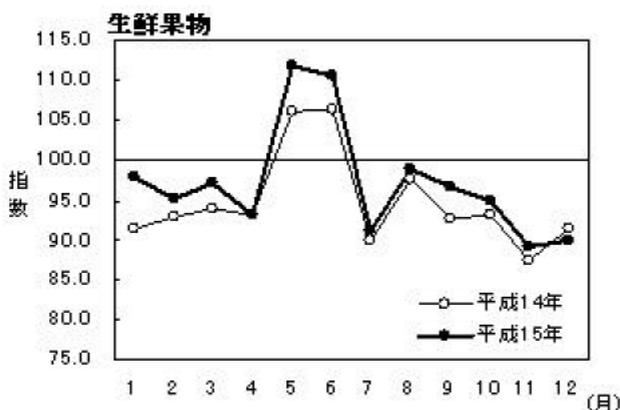
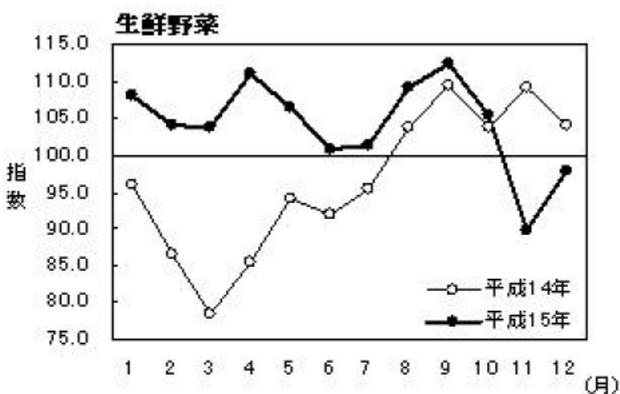
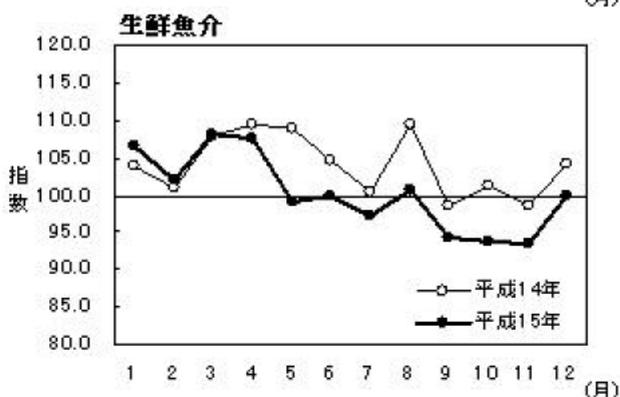
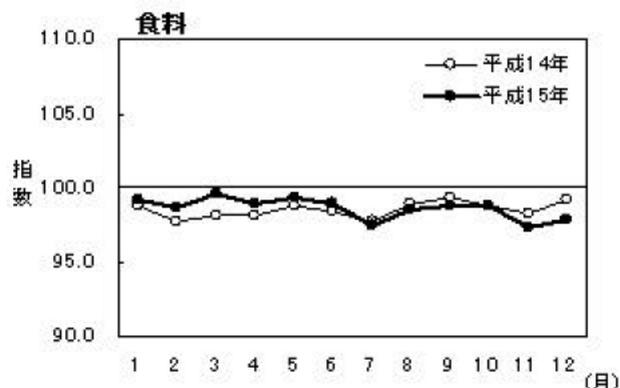
食料は 98.6 となり、前年に比べ 0.1% 上昇しました。

変化の内訳をみると、野菜・海藻が 4.8%、果物が 3.1%、穀類が 2.3%、調理食品が 1.8%の上昇でした。

一方、酒類が 3.1%、魚介類が 2.9%、肉類が 2.8%、菓子類が 0.7%、油脂・調味料が 0.6%、乳卵類が 0.5%、飲料が 0.1%、外食が 0.1%の下落でした。

なお、生鮮食品についてみると、

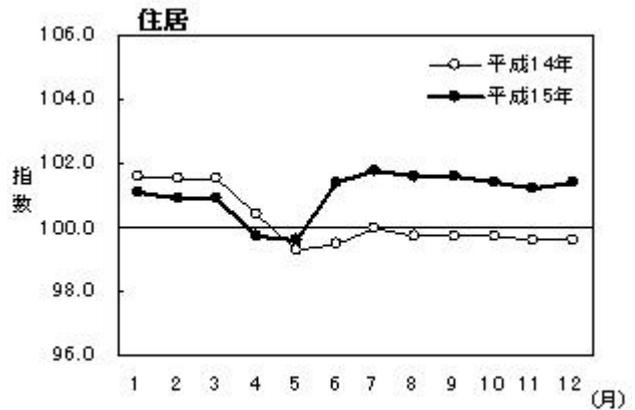
- ・生鮮魚介は、前半に平成 12 年の平均水準を上回る月が多く、指数は 100.2 となりましたが、1月から3月を除き、前年より低い水準で推移し、対前年比では 3.7%の下落でした。
- ・生鮮野菜は、11月・12月を除き平成 12 年の平均水準を上回っており指数は 104.2 となり、対前年比は 8.0% の上昇でした。
- ・生鮮果物は、5・6月を除いて平成 12 年の平均水準を下回り、指数は 97.2 となりましたが、12月を除き前年より高い水準で推移し、対前年比では 2.7%の上昇でした。



(2) 住居

住居は 101.1 となり、前年に比べ 0.9%上昇しました。

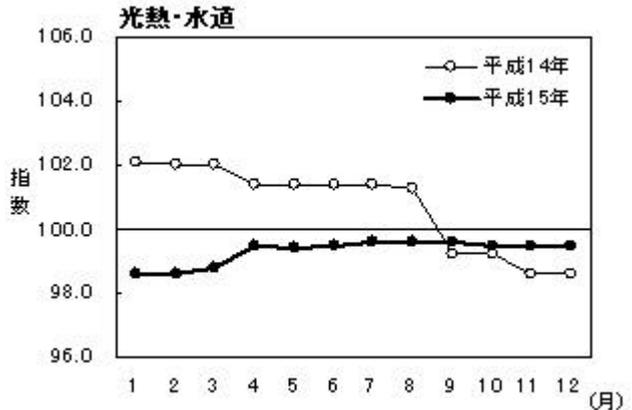
内訳をみると、家賃が 1.1%の上昇、設備修繕・維持が 0.3%の下落でした。



(3) 光熱・水道

光熱・水道は 99.3 となり、前年に比べ 1.4%下落しました。

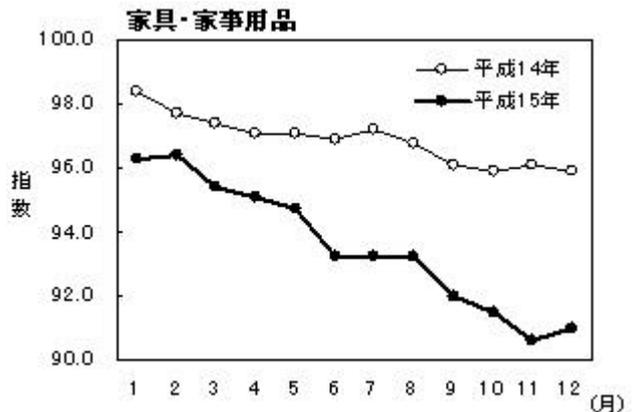
内訳をみると、上下水道は前年と同じ、他の光熱は 2.2%の上昇、電気・ガス代が 1.9%の下落でした。



(4) 家具・家事用品

家具・家事用品は 93.6 となり、前年に比べ 3.4%下落しました。

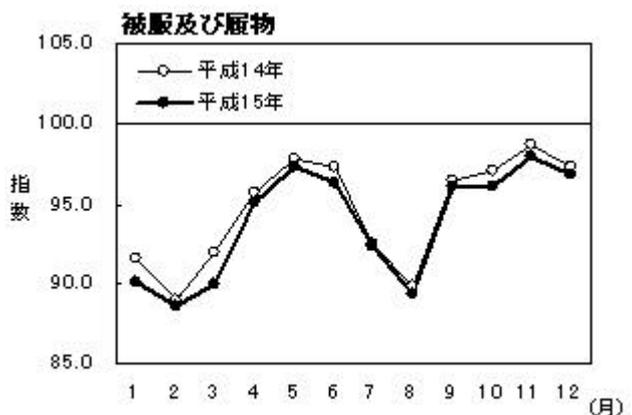
内訳をみると、家事用消耗品が 1.4%、家事サービスが 1.2%上昇、寝具類が 11.4%、室内装備品が 9.5%、家庭用耐久財が 5.1%、家事雑貨が 1.8%の下落でした。



(5) 被服及び履物

被服及び履物は 93.8 となり、前年に比べ 0.8%下落しました。

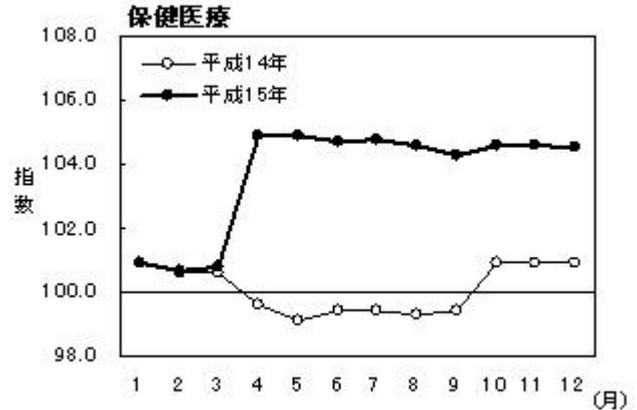
内訳をみると、生地・他の被服が 1.3%、シャツ・セーター・下着類が 1.2%、履物類が 1.0%、衣料が 0.3%の下落でした。



(6) 保健医療

保健医療は 103.7 となり、前年に比べ 3.6%上昇しました。

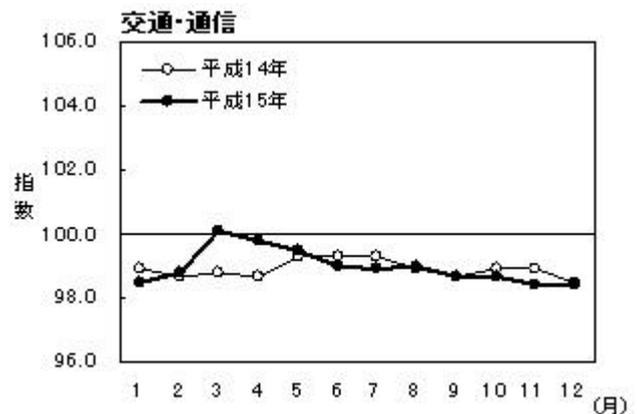
内訳をみると、保険医療サービスは平成 15 年 4 月の医療保険制度の改正により、診療代の自己負担額が引き上げられたことなどが影響して 7.9%の上昇、また、医薬品・健康保持用摂取品が 0.2%の上昇、保健医療用品・器具が 2.2%の下落でした。



(7) 交通・通信

交通・通信は 99.0 となり、前年に比べ 0.1%上昇しました。

内訳をみると、交通は前年と同じ、通信が 0.1%、自動車等関係費が 0.1%の上昇でした。

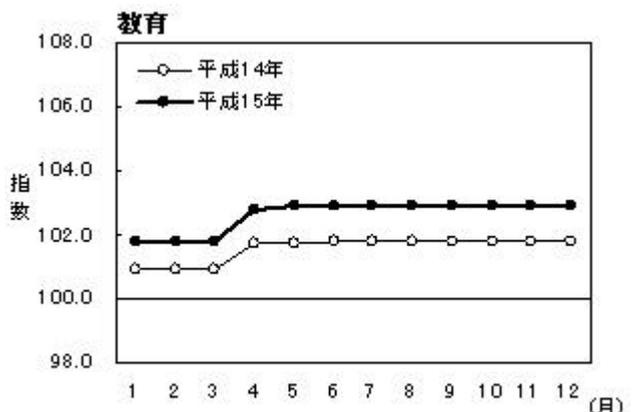


(8) 教育

教育は 102.6 となり、前年に比べ 1.0%上昇しました。

内訳をみると、授業料等が 1.5%の上昇、教科書・学習参考書が 0.6%の下落でした。

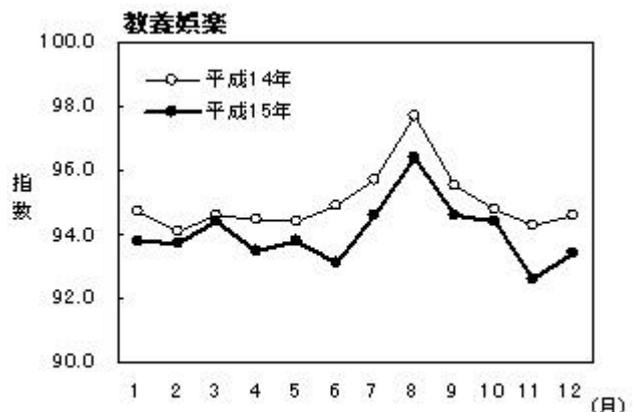
また、補習教育は前年と同じでした。



(9) 教養娯楽

教養娯楽は 94.0 となり、前年に比べ 1.1%下落しました。

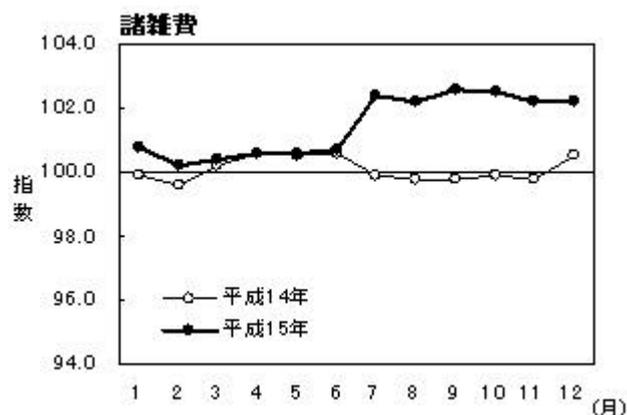
内訳をみると、書籍・他の印刷物が 0.2%上昇、教養娯楽サービスについては前年と同水準、教養娯楽用耐久財が 13.0%、教養娯楽用品が 0.2%の下落でした。



(10) 諸雑費

諸雑費は 101.5 となり、前年に比べ 1.4%の上昇でした。

内訳をみると、平成 15 年 7 月のたばこ税の引き上げにより、たばこが 4.1%の上昇、身の回り用品が 4.4%、その他が 0.3%、理美容サービスが 0.1%の上昇、理美容用品が 0.2%の下落でした。



4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とはその費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

平成15年三重県消費者物価指数は、総合で見ると前年と同水準でした。

総合に影響を及ぼした度合(寄与度)を主な中分類別費目でみると、主に住居の家賃が 0.18、保健医療の保健医療サービスが 0.15、食料の野菜・海藻類が 0.12と物価を押し上げる方向に働いた一方、教養娯楽の教養娯楽耐久財が -0.10、光熱・水道の電気・ガス代が -0.10、食料の魚介類が -0.08、家具・家事用品の家庭用耐久財が -0.07と物価を引き下げる方向に働いた結果、全体の寄与度は 0.00 (=総合指数の上昇率が 0.0%) となりました。

また、総合の上昇率に占める各費目の上昇率の割合を 100分比(各費目の上昇率÷総合の上昇率×100)で表す寄与率は、総合の対前年上昇率が 0.0%であったため、平成15年は数値がありません。

(表3、図4)

図3 費目別対前年上昇率(%)

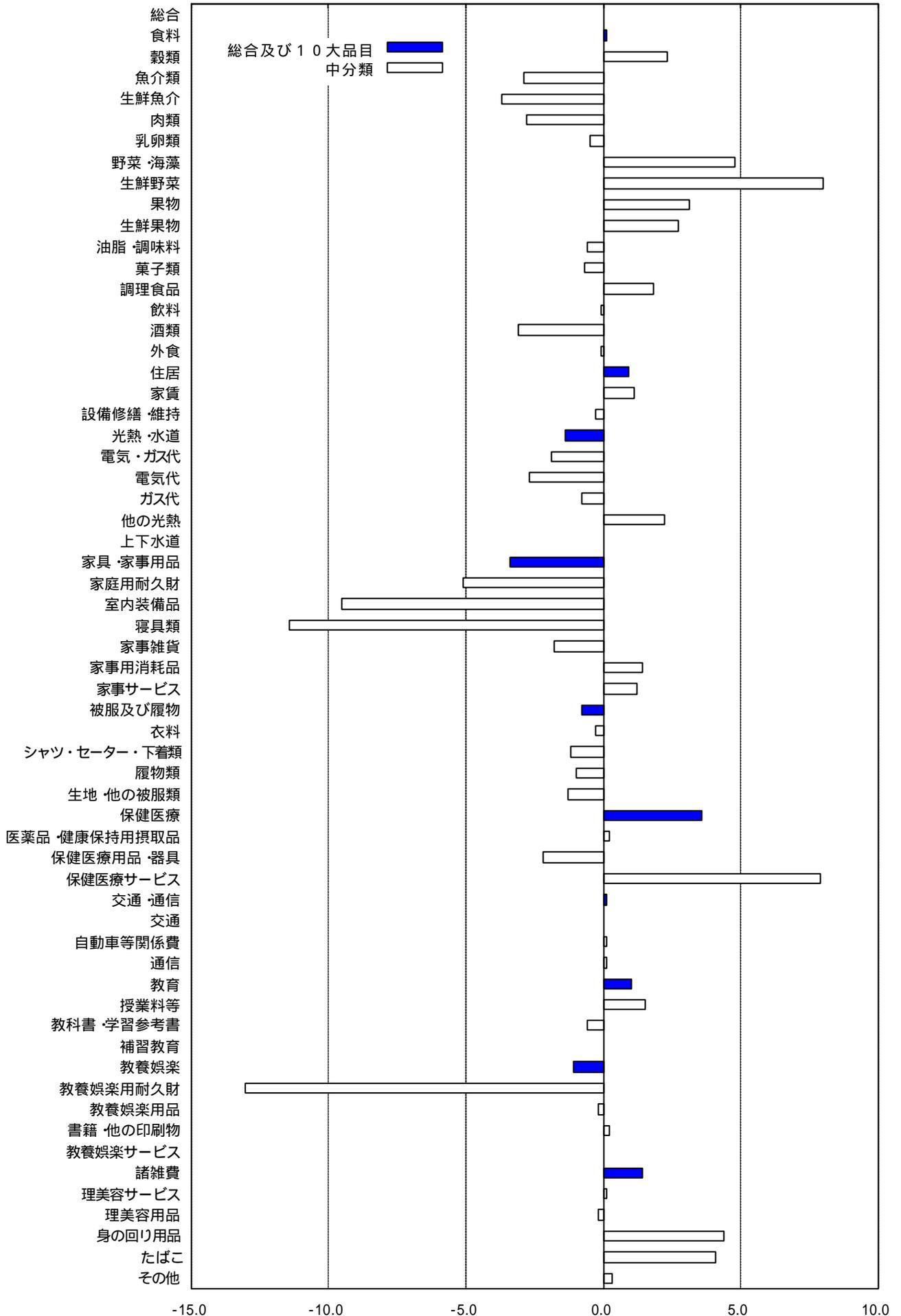


表3 4市平均中分類指数・寄与度・寄与率

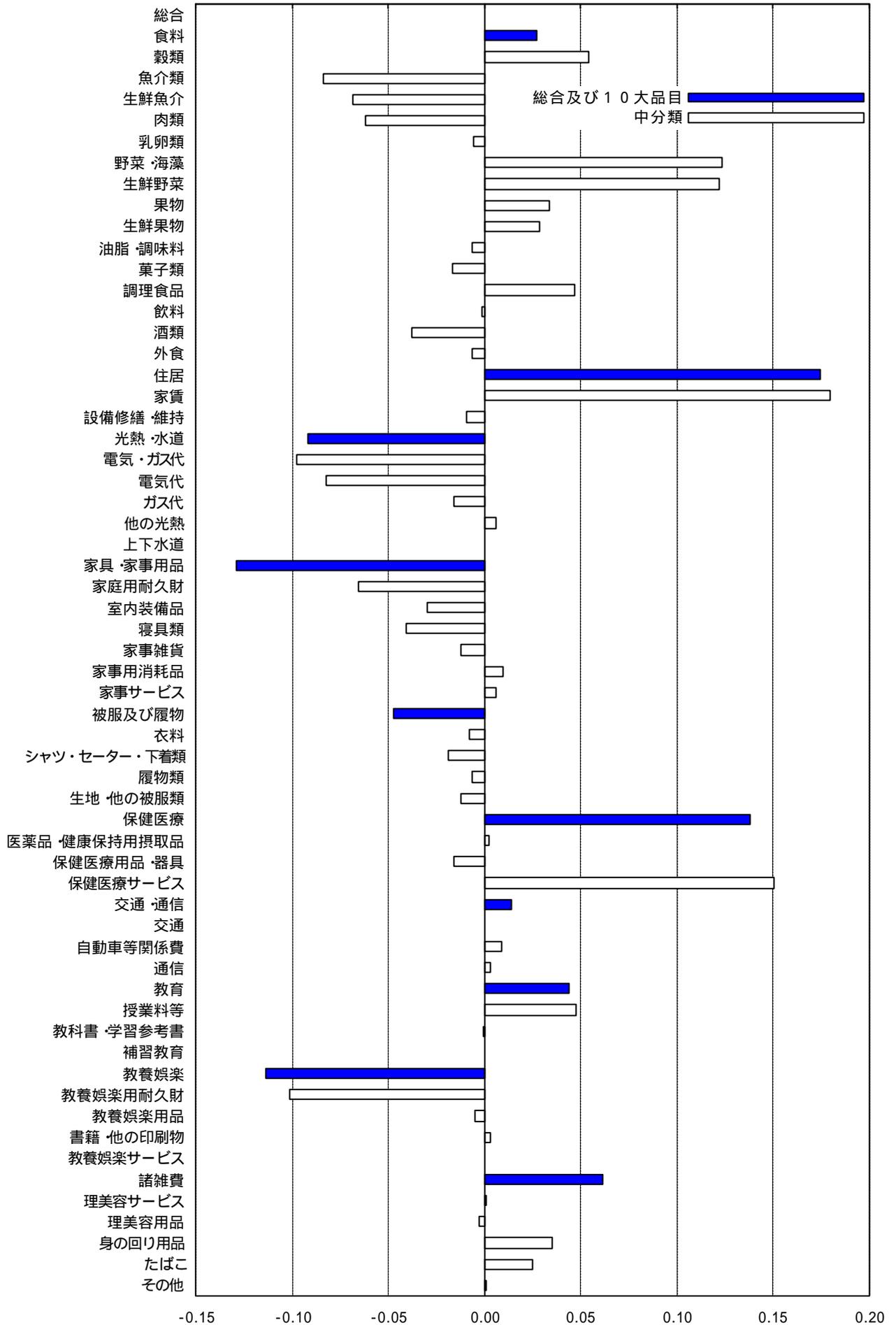
指数：平成12年平均 = 100

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度	寄与率(%)
	平成14年平均	平成15年平均	平成14年平均	平成15年平均	平成15年平均	平成15年平均
総合	98.6	98.6	-1.0	0.0	0.00	
持家の帰属家賃を除く総合	98.3	98.1	-1.0	-0.2	-0.17	
食料	98.5	98.6	-0.9	0.1	0.03	
穀類	96.9	99.1	-0.8	2.3	0.05	
魚介類	100.5	97.6	-1.9	-2.9	-0.08	
生鮮魚介	104.0	100.2	-0.6	-3.7	-0.07	
肉類	104.5	101.6	5.3	-2.8	-0.06	
乳卵類	95.6	95.1	-1.0	-0.5	-0.01	
野菜・海藻	95.4	100.0	-3.4	4.8	0.12	
生鮮野菜	96.5	104.2	-3.0	8.0	0.12	
果物	95.0	97.9	-5.9	3.1	0.03	
生鮮果物	94.6	97.2	-6.4	2.7	0.03	
油脂・調味料	98.5	97.9	-1.4	-0.6	-0.01	
菓子類	95.7	95.0	-3.3	-0.7	-0.02	
調理食品	99.2	101.0	-0.9	1.8	0.05	
飲料	94.4	94.3	-3.1	-0.1	-0.00	
酒類	98.8	95.7	-0.9	-3.1	-0.04	
外食	100.1	100.0	0.6	-0.1	-0.01	
住居	100.2	101.1	-1.0	0.9	0.17	
持家の帰属家賃を除く住居	98.9	97.4	-1.1	-1.5	-0.07	
家賃	100.5	101.6	-1.0	1.1	0.18	
持家の帰属家賃を除く家賃	99.7	97.6	-1.1	-2.1	-0.04	
設備修繕・維持	99.2	98.9	-1.0	-0.3	-0.01	
光熱・水道	100.7	99.3	-0.9	-1.4	-0.09	
電気・ガス代	99.1	97.2	-1.1	-1.9	-0.10	
電気代	97.7	95.1	-1.8	-2.7	-0.08	
ガス代	101.4	100.6	0.0	-0.8	-0.02	
他の光熱	98.1	100.3	-7.6	2.2	0.01	
上下水道	109.7	109.7	1.9	0.0	0.00	
家具・家事用品	96.9	93.6	-2.4	-3.4	-0.13	
家庭用耐久財	94.3	89.5	-3.0	-5.1	-0.07	
室内装備品	103.3	93.5	-2.9	-9.5	-0.03	
寝具類	92.0	81.5	-5.3	-11.4	-0.04	
家事雑貨	96.1	94.4	-3.4	-1.8	-0.01	
家事用消耗品	97.0	98.4	-2.4	1.4	0.01	
家事サービス	105.4	106.7	3.3	1.2	0.01	
被服及び履物	94.6	93.8	-2.6	-0.8	-0.05	
衣料	93.7	93.4	-3.3	-0.3	-0.01	
シャツ・セーター・下着類	92.1	91.0	-4.4	-1.2	-0.02	
履物類	95.5	94.5	-0.6	-1.0	-0.01	
生地・他の被服類	100.8	99.5	0.9	-1.3	-0.01	
保健医療	100.1	103.7	-1.0	3.6	0.14	
医薬品・健康保持用摂取品	98.8	99.0	-0.8	0.2	0.00	
保健医療用品・器具	96.1	94.0	-2.8	-2.2	-0.02	
保健医療サービス	102.6	110.7	-0.5	7.9	0.15	
交通・通信	98.9	99.0	-0.6	0.1	0.01	
交通	100.1	100.1	-0.1	0.0	0.00	
自動車等関係費	100.8	100.9	-0.4	0.1	0.01	
通信	92.4	92.5	-1.5	0.1	0.00	
教育	101.6	102.6	0.9	1.0	0.04	
授業料等	102.1	103.6	1.1	1.5	0.05	
教科書・学習参考書	102.6	102.0	1.0	-0.6	-0.00	
補習教育	100.0	100.0	0.0	0.0	0.00	
教養娯楽	95.0	94.0	-1.8	-1.1	-0.11	
教養娯楽用耐久財	73.9	64.3	-10.7	-13.0	-0.10	
教養娯楽用品	97.2	97.0	-1.1	-0.2	-0.01	
書籍・他の印刷物	100.3	100.5	0.1	0.2	0.00	
教養娯楽サービス	96.3	96.3	-1.3	0.0	0.00	
諸雑費	100.1	101.5	0.1	1.4	0.06	
理美容サービス	100.0	100.1	0.0	0.1	0.00	
理美容用品	97.6	97.4	-1.5	-0.2	-0.00	
身の回り用品	103.4	107.9	1.9	4.4	0.04	
たばこ	100.0	104.1	0.0	4.1	0.02	
その他	101.9	102.2	1.9	0.3	0.00	

1 持家の帰属家賃を除く総合 2 持家の帰属家賃を除く住居 3 持家の帰属家賃を除く家賃

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

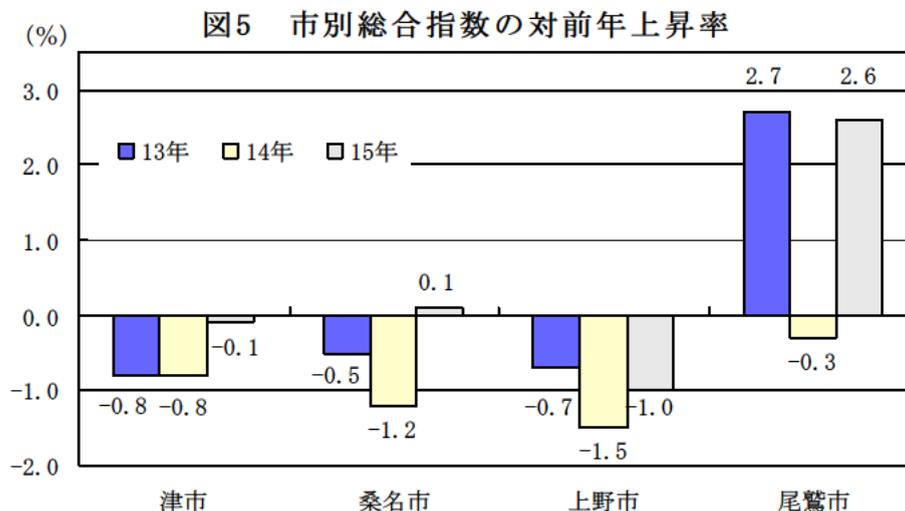
図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与度



5 各市の動き

県内4市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、尾鷲市で2.6%上昇したほか、桑名市で0.1%の上昇、上野市で1.0%の下落、津市で0.1%の下落でした。

(図5、表4)



(内訳)

4市を通してみるといずれの市も光熱・水道、教養娯楽が下落した一方、保健医療、教育、諸雑費については4市全てが上昇しました。

個々に見ると、津市では、食料が0.4%の下落で4市の中では唯一の下落となっています。また、被服及び履物について0.3%の上昇で4市の中で唯一の上昇となっています。

桑名市では、家具・家事用品が5.8%の下落で4市中最大の下落幅となっています。

上野市では、住居が5.7%の下落で4市の中では唯一の下落となっています。

尾鷲市では、住居が13.1%の上昇で4市の中では最大の上昇幅となっています。

表4 都市別10大費目別対前年上昇率

(単位：%)

	総 合	持除 家のく 帰属 家賃 を合 計	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	-0.1	-0.2	-0.4	0.6	-2.0	-3.0	0.3	3.7	0.3	1.7	-1.3	1.4
桑名市	0.1	-0.1	0.5	0.6	-0.4	-5.8	-1.9	3.7	0.0	0.5	-0.7	1.6
上野市	-1.0	-0.2	0.9	-5.7	-1.8	-2.7	-1.2	3.4	-0.3	0.5	-0.7	0.3
尾鷲市	2.6	-0.1	0.0	13.1	-1.1	0.1	-2.1	3.2	-0.1	0.1	-0.8	2.1